

【報告】 平成 27 年度 ボランティア・地域づくりコーディネータカ講座

第 7 回「地域回想法を学ぶ」

平成 28 年 1 月 15 日(金) 11:00~16:00

長野市ふれあい福祉センター



1 月 15 日(金)「地域回想法を学ぶ」講座が、平成 27 年度「ボランティア・地域づくりコーディネータカ講座」第7回として開催されました。日本福祉大学健康

科学部リハビリテーション学科作業療法学専攻来島修志氏を講師に迎え、参加者約 50 名が、長野市ふれあい福祉センターに集まりました。今回は長野県長寿社会開発センターと共催で、シニア大の受講生も多く参加しました。

午前は来島先生の出身地、富山の薬売りを導入として「地域回想法とは」のお話を聞いた後に実際に体験。2 人 1 組で「生まれた家の周りの風景」を語りあいました。次に 6 人ずつのグループでリーダーを一人決めて「子どもの頃の遊び」について語りました。「懐かしい話に花を咲かせましょう！」というリーダーの声から始まります。人の話を聞きながらどんどん昔のことを思い出して、にぎやかに進みます。このとき参加者の中で発言の少ない人に話を促したり、話が分散してしまわないようにまとめたりするのがリーダーの役目です。



午後は、午前中の 15 分のグループ体験を通して、リーダーの役割と、その持つ意

味についての講義を受けました。

講座を受講して、住自協、包括、お茶のみサロン、ボランティア活動者などが早速講座を企画したり、活動に生かそうとする動きが出てきています。



受講者の感想（振り返りシートより）

・小さな“きっかけ”を作る事で、気負う事なく回想法ができることが分かり良かったです。実際にグループで行ってみて、思い出と一緒にその時の自分に返ったかのように風景、服装、匂い等が思い出され、懐かしく楽しかったです。是非持ち帰って、地域や仕事で生かしていきたい。祖母の倉から懐かしい道具があるか探してみたいと思います。認知症カフェの開催がもっと増え、交流の場が増えると良いなと思いました。

・参加したことで懐かしくホッとなる気持ちになりました。グループのリーダー（進行役）の心得を理解できました。

・ありがとうございました。本当にたのしく、ためになりました。今すぐできそうなこと、すでにできていること…ありました。自分たちがやってきたこと（3世代いきいきまつり、きなさのごはん etc）が、とつてもたのしくて良いことだと知れて本当に本当にうれしかったです。今すぐとりかかりたいけど、もう少し勉強したいな～という気もします。「まちづくり」というキーワードも地域にぴったり。…というか今でも使っているものもあつたりしますよ。地域の活性化にも回想法が使えるそうです！！

・とても良い授業でした。又、これを機会に今度のボランティア活動にいかしていけたらち思っています。

・改めて回想法のよさを認識しました。ボランティア活動（紙芝居、あそび）も老人施設に行くことが多く、紙芝居を演じるだけでなく、コミュニケーションをとつてきてといっています。それに、回想法の知識があるとよい一時がおくれると思いました。つなげていきたいです。